令和２年度第１回国有林モニターアンケート（結果概要）

東北森林管理局では、開かれた「国民の森林」の実現に向け、国民の皆様のご意見やご感想を適確に把握し、それらを反映した管理経営を推進するための取組の一つとして、国有林モニター制度を設けています。

この度、令和２年８月に、令和２年度第１回国有林モニターアンケートを実施しましたので、その結果概要についてお知らせします。自由意見等については、抜粋・整理して掲載しております。

今回アンケートにご協力いただきました国有林モニターの皆様に、厚く御礼申し上げます。

〇アンケートの実施概要

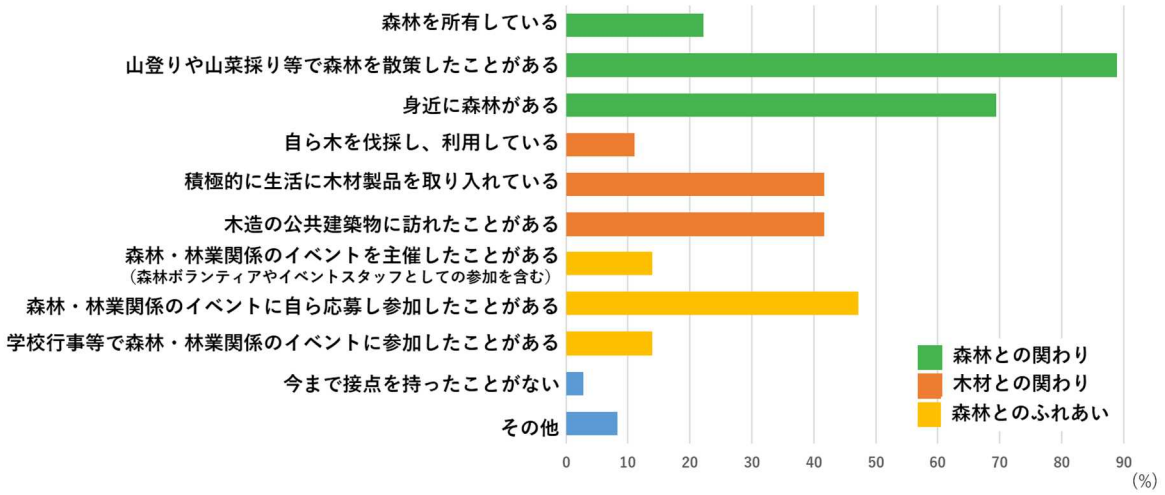
発送　　：令和２年７月 30 日
回答期限　：令和２年８月 21 日
回答率　　：75%(48 人中 36 人)

国有林モニター制度とは、アンケートの実施やモニター会議の開催等を通じて意見を伺うほか、広報やパンフレットで情報提供を行うなど、国民の皆様と国有林との間で、双方向の情報受発信を行う取組です。

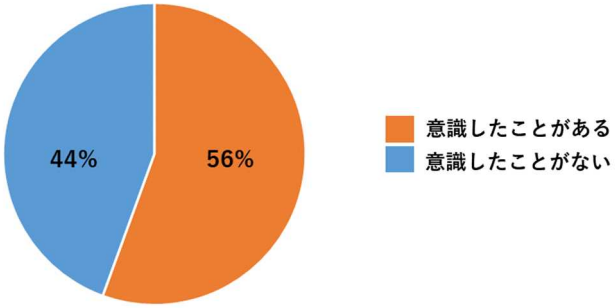
現在、令和２年４月～令和４年３月の２年間を任期として、管内５県の 48 名の方に国有林モニターとして活動していただいております。

1. 森林・林業・木材産業との関わりについて

（1）これまで、または現在、森林・林業・木材産業とどのような接点がありますか。



（2）これまでの森林・林業・木材産業との関わりの中で、国有林を意識したことはありますか。



〇理由（自由記述）

【意識したことがある】

・登山や林道を移動するとき、「国有林」の表示を見て意識する

・所有する隣接地が国有林であるため

・国土面積の7割を森林が占め、その大半が国有林であるため

・近くに国有林があり、かつて営林署の仕事をしていた人が近くにいるため

【意識したことがない】

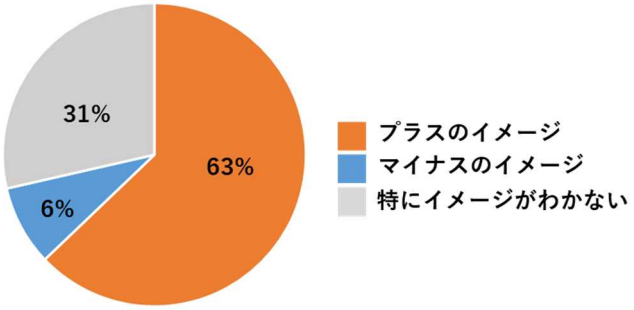
・身近に森林があり、国有林があると知っていたが、国で管理している山かどうかを深く考えたことはないため

・身近に森林はあるが、直接的に生活に関わっている感覚がないため

・国有林を詳しく知らなかったため

・森林は個人所有が多いと思っていたため

(3)「国有林」と聞いてどのようなことをイメージしますか。



〇理由

【プラスのイメージ】

・全国的な組織によって事業が実施されていて、民有林と比べて計画的に維持管理され、木材の利活用が行われていると思う

・水源確保という点で、その9割が「水源かん養保安林」となっている国有林。そういう意味でいいイメージを持っている

・四季を通して癒やしや安らぎを与えてくれる景観を有しているため

・日本国土の森林の多くの割合を国有林が占めていることを改めて考えると、国土の保全に大いに役立っていると思う

・国立公園や国定公園など森林に親しむ場が確保されているため

【マイナスのイメージ】

・国が所有・管理する森林ではあるが国民に対してどのような恩恵があるのか積極的に発信されていないため

・造林事業のため植林を大規模に行ったものの材木としての利用が十分されていないという印象を受けるため

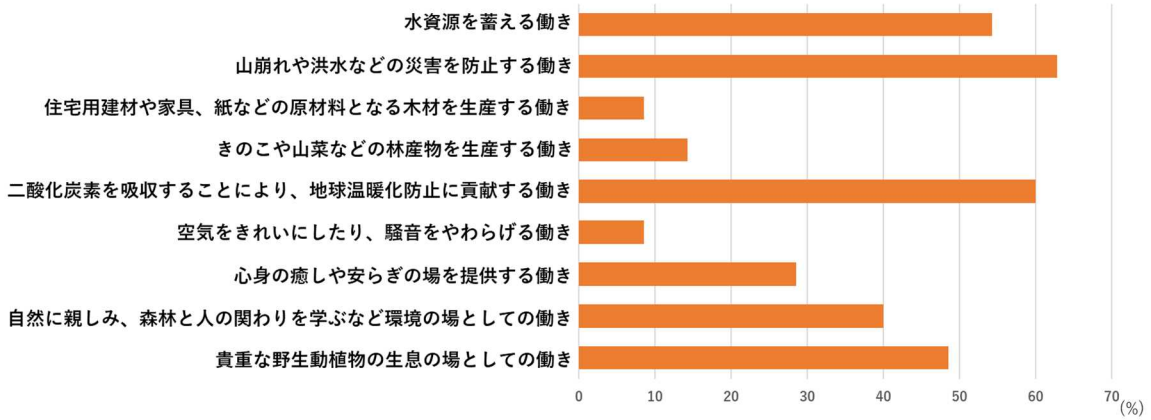
・国のものであるということは使用目的がある程度決められていると思うのであまりプラスのイメージがわかないため

【特にイメージがわかない】

・どのような経営がされているか、どのような樹種が生育しているか、場所など具体的に思い浮かべることができないため

・プラスマイナスというより国民全体の財産という認識で、恩恵も義務もともに負うと考えているため

(4)国有林が今後、どのような働きを果たすことを期待しますか。



「1. 国有林について」 まとめ

「山登りや山菜採り等で森林を散策したことがある」が 89%、「森林・林業関係のイベントに自ら応募し参加したことがある」が 47%、「積極的に生活に木材製品を取り入れている」、「木造の公共建築物に訪れたことがある」が 42%と、国有林モニターの方々は積極的に森林・林業・木材産業に関わっていることが分かりました。また、「身近に森林がある」が 69%で、森林が身近に存在する方が多いことが分かりました。

国有林を意識したことがあると回答した人が 56%でした。登山や山菜採りなど森林を訪れた時に「国有林」の標識を目にすることから国有林を意識するとの意見が多くありました。意識したことがない人は、民有林、国有林の区別をしたことがない等の意見がありました。

国有林に対して「プラスのイメージを抱いている」が 63%でした。国土の保全や水源涵養などの機能を発揮していること、森林に親しむ場が設けられていること、計画的な管理保全が行われているとの理由からプラスのイメージが抱かれていることが分かりました。一方で、「取組内容が分からない」、「国民全体の財産であるという認識」との理由から、「特にイメージわがない」との回答が一定数(31%)ありました。

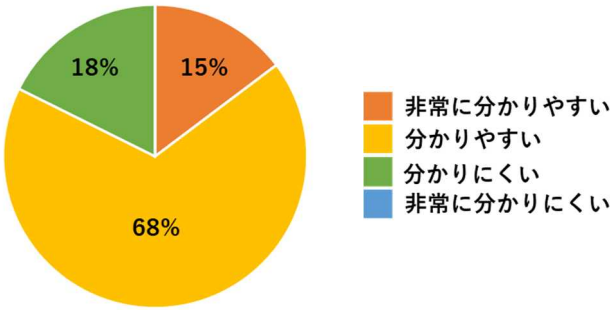
国有林が今後、どのような働きを果たすことを期待するかについて、「山崩れや洪水など山地災害を防止する働き」が 63%、「二酸化炭素を吸収することにより、地球温暖化防止に貢献する働き」が 60%、「水質源を蓄える働き」が 54%となりました。

国有林モニターの方々は、森林に親しみを持っている方が多く、国有林はある程度認知されていることが分かりました。しかし、自由記述の内容から、国有林における取組はあまり認識さえていないことが分かりました。国有林野事業の取組内容について理解を深めていただくためにも、積極的な情報発信が必要であると考えています。

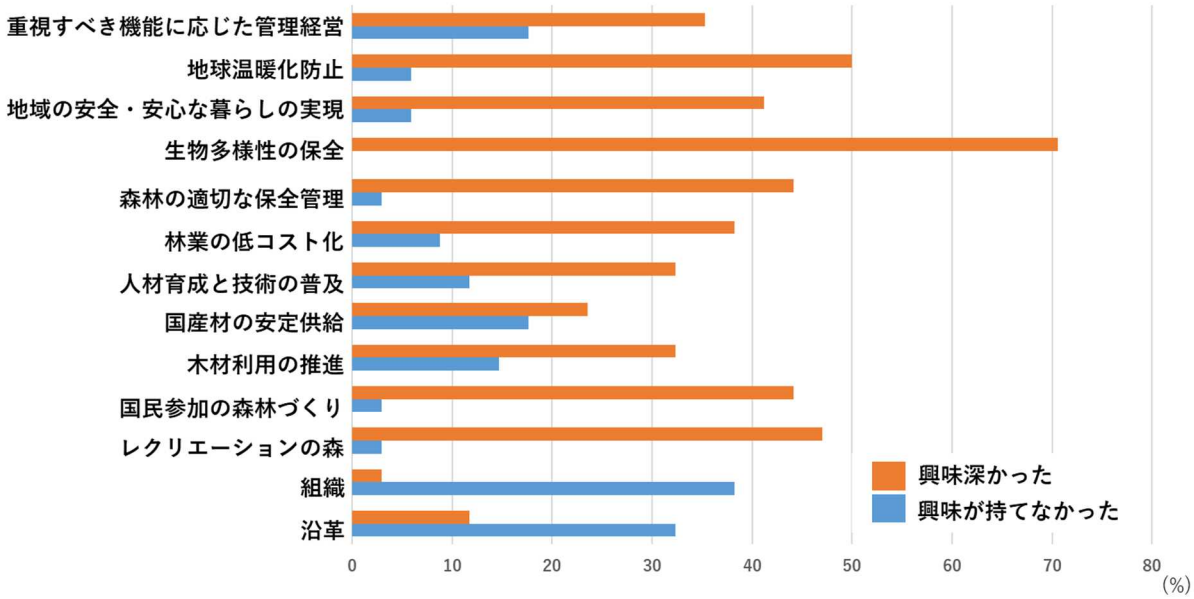
2. 情報発信ついて

（1）「東北の国有林」は、広く一般の方々に、東北森林管理局の取り組みの概要を知っていただくためのパンフレットです。「東北の国有林」について次の問いにお答えください。

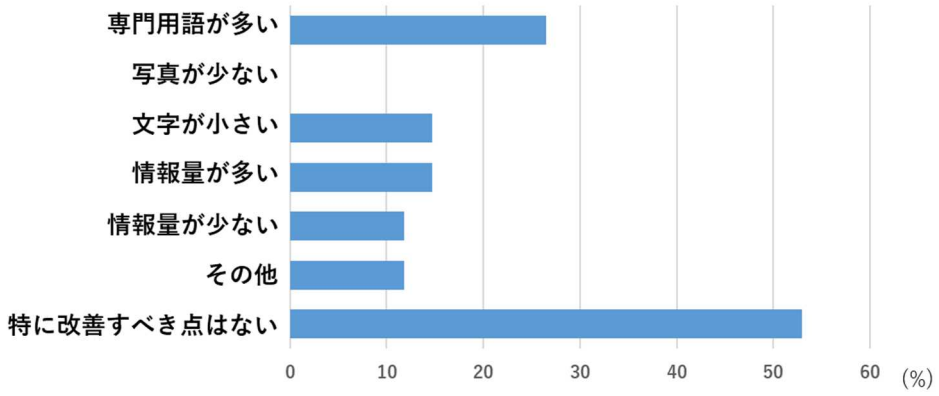
（1）① 全体的な印象を教えてください。



（1）②興味深かった項目、興味が持てなかった項目を教えてください。



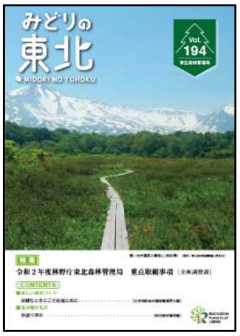
（1）③ 改善すべきだと思う点があれば教えてください。



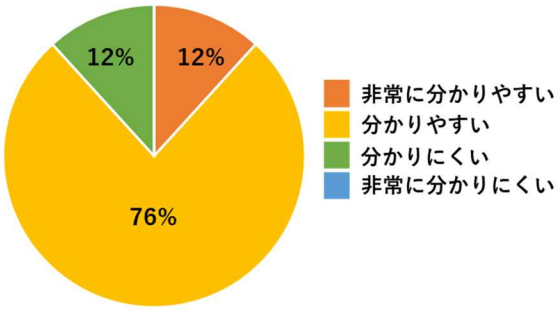
（1）④掲載してほしい情報、意見要望があれば教えてください。

・自然観察会等のイベント情報
・ボランティアの情報
・国有林の歴史
・季節に応じた森林のおすすめスポットなどについて
・山と河川と海の関連について
・国有林に生息する動物について
・動植物（生態系）の保護と駆除のあり方について
・人材育成（特に小学校の活動）について
・いろんな人が手に取りやすいところにおいてほしい
・これを要約版として詳細版を作ってほしい
・活動している方の感想や思いなどがあると読みやすく親しみやすいと思う

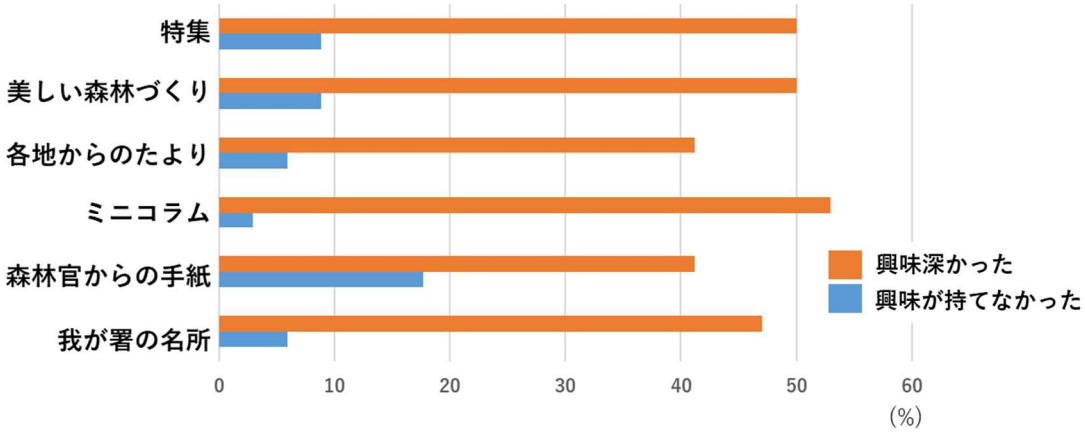
（2）「みどりの東北」は、毎月発行している東北森林管理局の広報誌です。管内に所在する署、支署、センター等の取り組み等を紹介しています。「みどりの東北」について次の問いにお答えください。



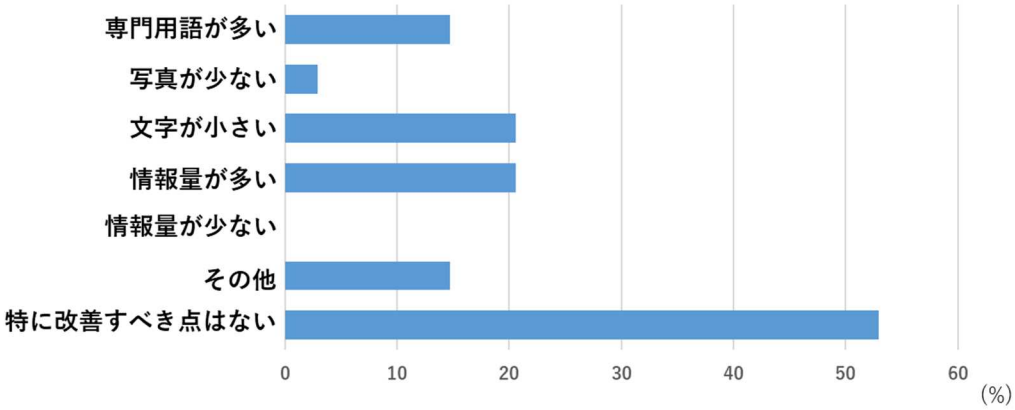
（2）① 全体的な印象を教えてください。



（2）②興味深かった項目、興味が持てなかった項目を教えてください。



（2）③ 改善すべきだと思う点があれば教えてください。



（2）④掲載してほしい情報、意見要望があれば教えてください。

・国有林内に残置されている森林軌道跡の歴史について
・森林セラピー（ロード）について
・世界の森林の現状や話題について
・東北のイベントやボランティアの情報
・夏季に体験したい森林の散策コースについて
・小水力発電の利活用について
・風力発電の風力建設における国有林との関係について
・森の駅について
・「我が署の名所」で紹介された場所に、東北エリアを小旅行するときに立ち寄りたい
・この広報誌があることを知らなかったのでもっと多くの人に知ってもらいたい
・掲載されたものの内容をもっと深く知りたい

「2.情報発信について」 まとめ

パンフレット「東北の国有林」について、83%の人が「非常に分かりやすい」、「分かりやすい」と回答しました。興味関心が高かった項目は、「生物多様性の保全」が 71%、「地球温暖化防止」が 50%のほか、「レクリエーションの森」、「国民参加の森林づくり」、「地域の安全・安心な暮らしの実現」でした。興味関心が低かった項目は「組織」、「沿革」のほか、「国産材の安定供給」でした。

改善するべき点としては「専門用語が多い」が一番多く 26%でした。広く一般の方を対象としたパンフレットであるため、より分かりやすい表現をするなど工夫が必要であることが分かりました。

広報誌「みどりの東北」について 88%の人が「非常に分かりやすい」、「分かりやすい」と回答しました。内容としては、どの項目も興味を示してもらえていることが分かりました。「広報誌で紹介された場所に立ち寄りたい」との意見もあり、紙面の情報のみならず、読んだ方々の活動につながるよう、今後も工夫してまいります。

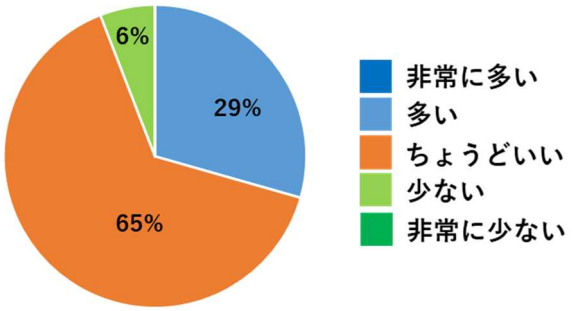
改善すべき点としては、「文字が小さい」、「情報量が多い」が多く、意見としても、「読みやすいレイアウトにしてほしい」との要望がありました。

パンフレット及び広報誌はおおむね興味深く分かりやすい内容であることが分かりました。一方で、パンフレットや広報誌を初めて見たとの意見もあり、東北森林管理局の広報媒体の中心である広報誌や、それを掲載しているホームページが認識されていないことがうかがえます。今後は、情報発信の方法について工夫してまいります。

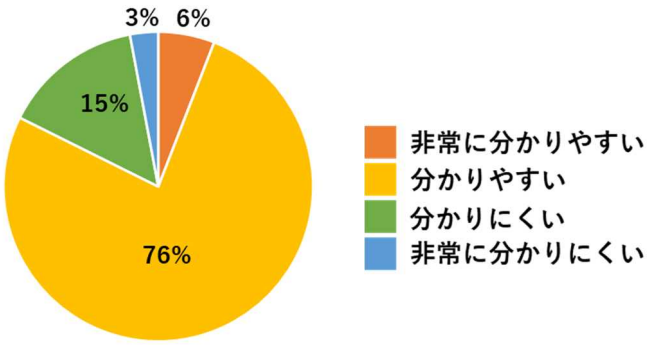
3.国有林モニター活動ついて

（1）毎月送付している資料について、次の問いに答えてください。

（1）①1 回あたりの資料の分量について教えてください。



（1）②「今月の特集」について教えてください。

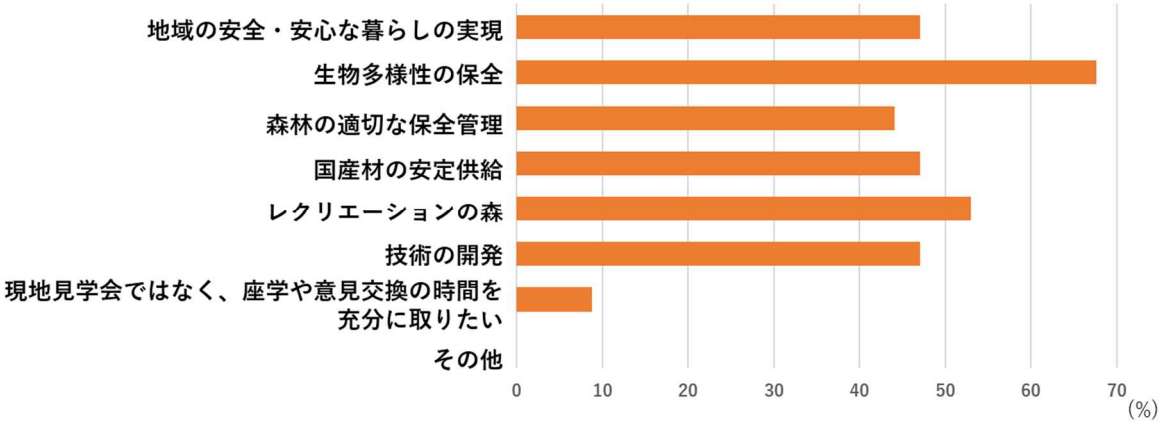


（1）③「今月の特集」で取り上げて欲しいテーマや、毎月の資料に対するご要望がありましたらご記入ください。

・森林管理署の主催するイベント紹介とその成果と課題について
・「国民参加の森林づくり」や「レクリエーションの森」の状況について
・人工林と自然林の実態と課題について
・国内に輸入されている丸太について、その総量と流通、市場規模について
・神社・仏閣など国の文化財を保全するための木材はどのように調達されているのかについて
・国産材の魅力、価値について
・国産材で作った木材製品がどんなものか、どこでどんな風に作っているかを見たい
・国有林に存在する道路の種類と維持管理について
・林間放牧（牛など）の事例について
・「森林組合の現状と課題」、森林組合の役割などについて
・松枯れやナラ枯れの実態と対策について
・薪ストーブの普及と薪供給システムの優良事例について
・森林の再生可能エネルギー利用について
・森林所有者が自ら経営管理できない森林に対する取組について
・季節ごとに見ることができる山野草や昆虫、鳥などについて
・3.11 後の東北地域の森林の放射性物質の動向と安全性評価について

・豊かな森林、自然を維持するため様々な取組がもっと多くの人に知ってもらえると良いことが広がっていくと思う
・動画が見れる QR コードが付いていたらすんなり頭に入ってくると思う

（2）現地見学会で見学したい内容を教えてください。



（3）国有林モニター活動についてご要望がありましたら、ご記入ください。

・モニターとして様々な体験活動を通して、少しでも国有林についての知見を広げたいで
・森林管理署から森林パトロール通信が送られてきて、この地域でも色々な森林活動が行われていることを知り、その活動にも参加してみたい
・せっかくモニターとして活動ができるのなら１人１人でも出来るようなプロジェクト等があるともっと身近に感じるのではないかと思う
・見学を主としたモニター活動だけではなく、意見を交わしたり提言を募集するなどモニターの声を受け止める機会が欲しい
・各森林管理署・支署での業務の見学や説明を受けたい
・親子で参加できる見学会を開催してほしい
・学んだ知識を周りの人たちにも伝えたいが、今何をどう伝えるべきなのか教えて欲しい

「3.国有林モニターについて」 まとめ

毎月の送付資料は、おおむね興味深く分かりやすい内容であることが分かりました。1回あたりの資料の分量は、65%が「ちょうどいい」、29%が「多い」と回答しました。

毎月テーマを変えて国有林の取組についてお伝えしている「今月の特集」について、82%が「非常に分かりやすい」、「分かりやすい」と回答しました。一方で、「分かりにくい」、「非常に分かりにくい」との意見もあり、図表の活用や専門用語の解説など、分かりやすい資料の作成に努めてまいります。

現地見学会で見学したい内容としては、「生物多様性の保全」が 68%でした。いただいたご意見をもとに、来年度の現地見学会の内容を検討してまいります。

新型コロナウイルス感染症の流行により、現地見学会に参加できない方も多く、小規模で活動したいとのご意見もありました。国有林の取組を知っていただくために、ご意見やご要望をもとに、今後のモニター活動に活かしてまいります。